

令和4年度事業報告書 <みくにの森クリニック>

テーマ：非常災害（感染症・自然）の避難計画に基づき、安全・安心あるサービスの提供と
人材の確保に努める

～安心して働ける職場として利用者・職員双方への優しいケアの実現～

サブテーマ：職場環境改善に努め、多職種連携により安心・安全な医療を提供する。

1. 入所者・利用者の健康維持と疾病の早期発見、早期治療

①多職種、協力病院との連携や情報提供により異常の早期発見・治療を行うことができたが、8月から管理医が週1回3時間の診療となり、体調不良時の受診や入院が増えてしまった。

②11月15日より12月の新型コロナ感染症発生時には、坂井健康センターの指示の下、1ヶ月以上に渡るゾーニング・感染対応強化を実施。情報収集・共有を行い、必要な医療継続を行った。また、コロナワクチン接種を推進し、抗原検査キットをドライブスルー方式にて、活用し早期発見に努めた。

2. 利用者・家族との信頼関係の構築

①コロナ感染による面会制限があり、体調不良時には状態報告・早めにIC施行し、家族の意思確認を行った。また、利用者・家族の思いを尊重し、意向に沿った対応や医療ができた。

②デイ利用者は主治医受診、ショート利用者は相談員・ケアマネを通して主治医と連携し対応することができた。

3. 明るく働きやすい職場作り

①職員の健康診断を実施。40歳以上の職員については健康保険協会に結果を報告し、指名された5名が特定健康指導を受け、生活習慣を見直すきっかけとなった。

②産業医の巡視・衛生委員会での指導を受け、より良い職場環境改善に努めた。

③ワクチン接種やコロナ発生時の陽性者の対応により、メンタル面での相談までは実施できなかった。